

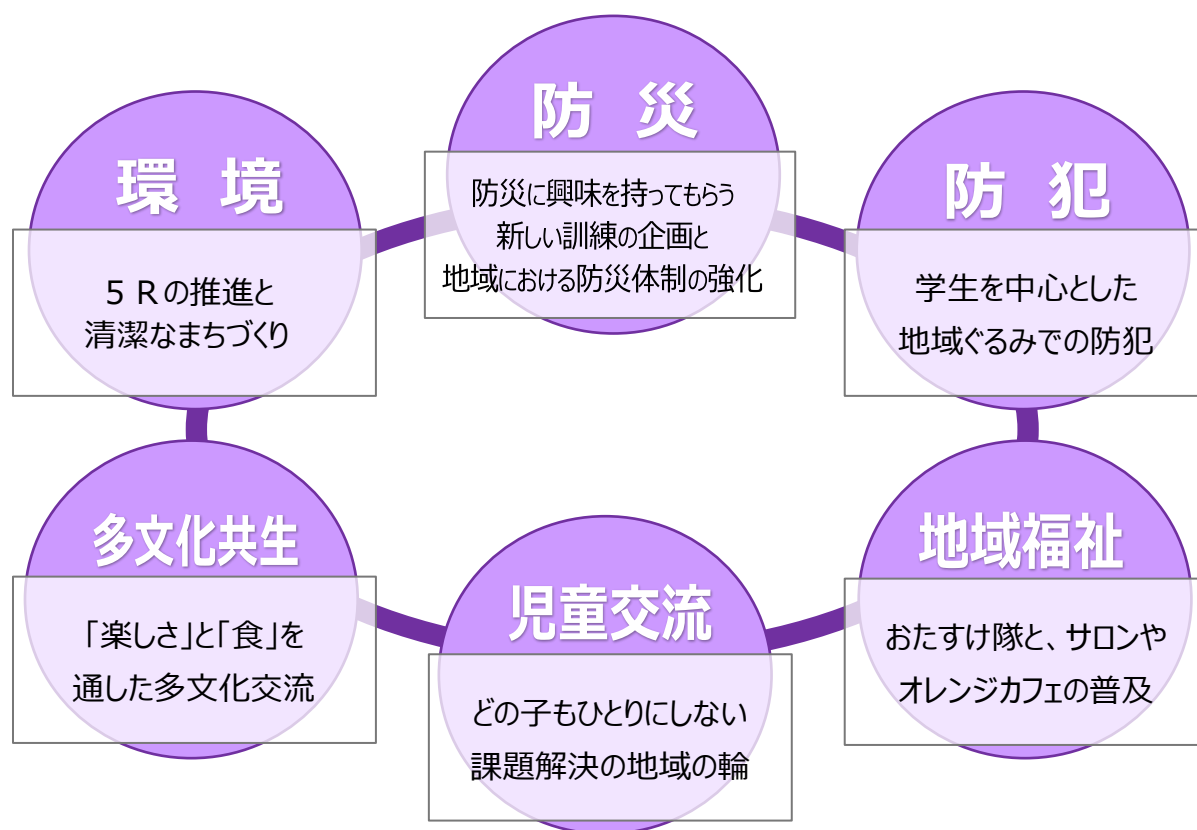
# 地域協議会への期待

地域協議会推進市民会議では、令和2年度から全地域において共通した課題として「防災」「防犯」「地域福祉」「児童交流」「多文化共生」「環境」の6つの課題をテーマに、その解決に向けて各地域協議会に期待する役割や活動について検討を重ねてきました。

以降に記載するものは、必ずしもすべての地域に当てはまるものではありませんし、すべからく地域協議会の対応を求めるものではありません。

しかし、各地域協議会で今後、地域の課題について協議、検討することがあれば、これらを観点とすることも考えられるのではないのでしょうか。

## 【地域における6つの課題】



各課題の見出しにあるロゴマークは、2030年までの国際目標である「SDGs」の17の目標とその課題との関係性を示すものです



SDGsに関する詳細・・・外務省 HP : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>



# 防災



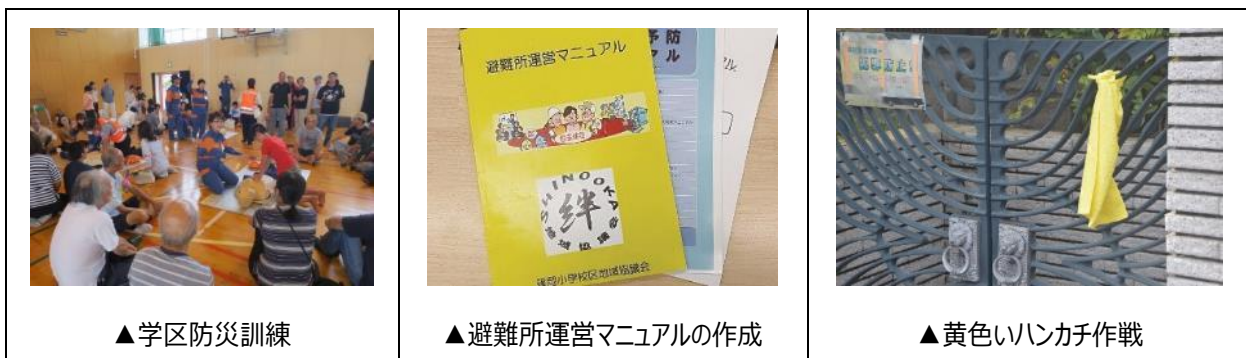
防災に興味を持ってもらう  
 新しい訓練の企画と  
 地域における防災体制の強化

## 1. 地域協議会と「防災」

地域協議会では、これまで小学校区毎に「防災訓練」が企画され、消防や市の防災関係課と連携しながら、様々な工夫を凝らした実践的な訓練がなされてきました。

また、一部の地域協議会では住民が主体となった避難所運営についての検討がなされ、避難所運営に関するマニュアルや運営体制を整備された協議会もあり、これらの活動により地域住民の防災に関する意識は高まりつつあります。今後は、より実効力のある防災体制の整備に取り組んでもらいたいと思います。

### 防災に関する地域協議会の活動事例



## 2. 地域協議会に期待する役割

### (1) 学区防災訓練の継続と発展

ほとんどの地域協議会で取り組まれている事業であり、毎年、地域ごとに多くの参加がありますが、その内訳を見ると高齢者に偏っており、参加者も固定しがちです。

今後はこれらの活動を継承しつつ、若年層や要支援者、外国にルーツを持つ方など、様々な立場の人が参加できるようにすることが必要です。

特に、小中学生が防災に興味を持てるよう学校との連携を密にし、新たな手法の防災訓練を企画することで、将来の防災活動の担い手育成と地域全体の防災意識を高めていくとともに、災害に対応できるよう実務的な訓練も継続しましょう。

#### ■ 事業の例

避難訓練など  
学校行事への協力



実務的な訓練、  
避難生活体験会、  
防災キャンプ



防災運動会

【大城】



炊き出し訓練

【篠岡、小牧原、  
大城など多数】



#### 参考資料

- ①小牧市防災ガイドブック
- ②小牧市避難所開設運営マニュアル



▲ガイドブック



▲運営マニュアル

### (2) 防災関連団体等との関係づくり

災害時には、行政のみならず「区（自治会）」や「民生委員」、「自主防災会」、「消防団」、「婦人消防クラブ」、防災に関する様々な「地域活動団体」などが協力して対応にあたる必要があります。

しかしながら、それぞれの団体が平時何をしているのか、緊急時の役割分担や連携などについては十分に確認できていない場合があります。

地域協議会の場で、それらの団体が繋がり、各々の役割を改めて確認し、さらにはその情報を住民に広く知らせることで、災害時の対応に向けて、より強固な体制が作れると思います。

## ■ 事業の例

団体間の  
意見交流会



災害時の担当者同士  
の話し合い  
(例. 各地区の避難所  
運営の担当者など)



### (3) 地域の防災リーダーの育成

災害対応に際して、最も不安視されるのが防災リーダーの不在です。

避難所運営だけに焦点を当てても「避難所開設」から「避難者の把握」、  
「自治体との連絡や広報」、「物資受領」、「衛生管理」など、様々な対応が  
想定されます。

初動期にはそれぞれの役割を把握し、指示することができるような強い  
統率力が、展開期には役割分担を明確にし、周囲に助けを求めながらニー  
ズに応える柔軟さが必要とされており、こうした能力を備えたリーダーの  
育成はあらゆる地域での共通課題であり、地域協議会がその中心的な役割  
を担うことを期待しています。

## ■ 事業の例

担い手養成の  
講演会、講座

【篠岡】



学区を超えた  
防災リーダー同士の  
情報共有



防災リーダー会、  
災害ボランティア  
ネットの会との協働



with コロナでは...

防災訓練については対象者を限定する、時間を  
ずらすなど、参加者の人数を減らす工夫をしたうえで、  
屋外での訓練や展示を中心とした訓練、防災講話や動画の視聴など  
密を避けた方法で実施することができます。  
また、意見交換などの会議も Web 会議アプリ等を利用することで  
実施できます。

### 3. 関係機関/団体

#### (1) 行政機関

地域の防災訓練に関すること	防災危機管理課 防災危機管理係（76-1171） 消防総務課 消防係（76-0229）
災害時要支援者に関すること	福祉総務課 社会福祉係（76-1196）
災害ボランティアに関すること	小牧市社会福祉協議会 ボランティアセンター（77-0636）

#### (2) 類似/先進事例団体

防災全般	小牧防災リーダー会
災害ボランティア支援センターの支援/災害ボランティアコーディネーター/防災活動	小牧災害ボランティアネットの会

その他、地域活動団体やボランティア団体の紹介・コーディネート等については、以下にお問い合わせいただくか、右記QRコードから検索いただけます。

#### 【こまき市民交流テラス ワクティブこまき】

- ・住所 小牧3丁目555 ラピオビル2F
- ・電話 0568-48-6555
- ・URL <https://komakici.jp/>

#### 【社会福祉協議会 ボランティアセンター】

- ・住所 小牧5丁目407 ふれあいセンター1F
- ・電話 0568-77-0636
- ・URL <https://komakivc.jimdofree.com/>



▲ワクティブこまきホームページ内「こまき団体情報ガイドブック」



▲ボランティアセンター